

2006年7月11日  
インクリメントP株式会社

〒153-8665 東京都目黒区下目黒1-7-1

N35°37'47" E139°42'55"

http://www.incrementp.co.jp/

## 「子どもの安全プロジェクト」

### 日本 PCA 教育振興会公認「親子で一緒に考える 子ども安全ホームページ」公開

このたび、子ども安全ホームページ事務局(公認:日本 PCA 教育振興会、東京都公立中学校 PTA 協議会)ならびにインクリメントP株式会社(東京都目黒区、代表取締役社長 森 秀一)は、「子どもの安全プロジェクト」活動の第一弾として、「親子で一緒に考える 子ども安全ホームページ」を公開いたします。

当ホームページでは、東京大学教授工学博士 小出治教授の監修ならびにインクリメントPが企画運営するデジタル地図サービス「MapFan(マップファン)」の全面的協力のもと、誰でも無料で利用できる、安全マップ作成サービスの提供を行ってまいります。

また、当ホームページは文部科学省認可団体 日本 PCA 教育振興会、東京都公立中学校 PTA 協議会が公認する初の安全マップ作成サービスとなり、2006年7月1日(土)に開催された「第3回 大人の教育シンポジウム(主催:日本 PCA 教育振興会)」でも、当ホームページが取り上げられました。

今後、子ども安全ホームページ事務局ならびにインクリメントP株式会社は、「子どもの安全プロジェクト」の一員として、全国各地域約1,200万人の小中学校PTA会員様および、各市町村のご協力を仰ぎながら、地域活動等を通じて当安全マップ作成サービスの普及活動に努めてまいります。

#### 親子で一緒に考える 子ども安全ホームページ <http://www.kodomo-anzen.jp> とは

近年、児童を標的にした犯罪が多発し、47.9%の国民が治安の悪化を感じている<sup>(1)</sup>など、防犯意識が高まっています。

特に小学生が標的となるケースが多く、各小学校や地域では、集団での登下校を行ったり、地域住民やボランティアによる監視の目を強めたりするなど、防犯対策に強い関心が持たれています。また、文部科学省が犯罪から児童自身で身を守るための「安全教育」を小学校などで必須とすることを検討する方針を固めるなど、行政面での支援も本格化しつつあります。

代表的な例としては、危険スポットや不審者目撃情報などを書き込んで児童に配布する「子ども安全マップ」への取り組みが挙げられますが、実施するかどうかや実施の方法は各校の判断に委ねられていたり、ノウハウの不足により効果的な安全マップが作成できていなかったりなどの問題を抱えているのが現状です。

このような社会情勢を踏まえ、児童の安全を守る「子ども安全マップ」を作成するための地図データと、親子で一緒に安全マップを作成できるマニュアルを無料・会員登録不要で提供いたします。

2005年4月内閣府発表

「子ども安全マップサイトイメージ」、「子どもの安全プロジェクト」について別紙添付。

<sup>(1)</sup>MapFan(マップファン)はインクリメントPの登録商標です。 記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。



トップページ



MAPを入手する

1) 地図範囲は、一般的に子どもの行動範囲をカバーする、自宅を中心に1km～2km 圏内を！  
まず自宅住所を検索しその範囲を選択。  
周辺9枚の地図が印刷されます。

2) 印刷された地図に、自宅を中心に、通学路・塾への道、よく遊ぶ場所など、子どもの行動範囲を実際に歩いてみて、自然な視線が感じられない見えにくい場所や、子どもが不安に思う場所、また逆に人の目が合って比較的安心な場所などをチェックして地図に書き込んでいきます。



印刷イメージ(1枚目)

## 「子どもの安全プロジェクト」発足にあたって

子どもに関する事件、犯罪が多数発生する昨今、“子どもの安全”に関するマスコミ報道は増える一方です。各方面のメディアで、様々な切り口からの主張や意見が、議論されていますが、方法論、実践、今後の継続等、解決していかなくてはならない課題は山積しています。

そのような中、子どもを持つ保護者でもある多種多様な業界の企業の有志が、子どもの安全を守るために何ができるかについて話し合い、確実に実践していくことを目的に集いました。約2年間の討議の末、誕生したのが、この「子ども安全ホームページ」です。

「自分が住む街を知り、何が起きているか、何が危険か、何が不安か。大人と子どもと目線ではどう違って見えるかを把握することがスタートです」という、討議の中で出会った小出先生の監修で作成する「子ども安全マップ」の活動は、まさしく子どもの安全を守るための基本の一つ。

「子ども安全マップ」の作成マニュアル

必要なエリアの白地図を自由に出力することができるサービス

上記2点を提供することが、一人一人の保護者にとって、子どもの安全を守る活動のスタートの後押しとなることを願っています。

活動がスタートしたこれからも、次の課題、次の目標がどんどん生まれてくることでしょう。

「子どもの安全プロジェクト」は、アナログのよさとデジタルの利便性を融合した、課題を解決していくための情報やノウハウの提供を、このホームページを核に行っていきたいと考えています。そのために、当初に集った有志が、所属する企業の中で培ったノウハウを生かして、より役立ちかつ最新のアイデアや技術を、惜しみなく出していきたいと考えています。すでにいくつかのプランが話し合われ、実践に向けて動いています。

実践の中で感じたあらゆるコト、役立ったモノの情報を、このホームページに訪れてくださった方に教えていただきながら、より地に足のついた情報とノウハウの提供をしていきたいと考えています。

「子どもの安全プロジェクト」有志メンバー一同